

磁性・強相関分野中性子若手研究会 第一回研究会 テーマ「回折」

12月3日(月) 13:00- 東海村波紋施設 山田ホール

世話人：中島多朗（理研），南部雄亮（東北大），萩原雅人（KEK）

参加方法：

下記のフォームよりお申し込みください。研究会自体の参加費は無料、飛び込み参加も歓迎します。

懇親会に参加を希望される方は 11/22 までに下記フォームの懇親会欄を「参加」としてお申し込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfe0E0VDqTBKLgrcOoeuYcmQkryoq0SIFCI0I1JFRH4YSAo8g/viewform?usp=sf_link

<概要>

磁性・強相関分野の若手研究者による中性子及び X 線を用いた最新の成果を発表してもらい、近年発達してきた新しい中性子・X 線散乱実験手法やそれを用いて展開されるサイエンスについての理解を共有する。また、各講演者には「将来中性子を使って展開したいサイエンス」についても発表してもらい、これをもとに聴衆も含めて全体討論を行うことで、現在進行中である MLF TS-2 計画や、JRR-3 の再起動を見据えての研究の展開、現 MLF での中性子散乱技術の高度化等について若手研究者からの要望・提言を広く集めて中性子コミュニティーに広く発信する。

<プログラム>

13:00 - 13:05 はじめに（趣旨説明）中島多朗（理研）

セッション 1：中性子回折を用いたサイエンス

13:05 - 13:30 「重くないセリウム化合物の磁性研究」池田陽一（東北大金研）

13:30 - 13:55 「磁気フラストレーションをもつ酸化物磁性体における中性子回折」浅井晋一郎（東大物性研）

13:55 - 14:20 「小角中性子散乱による外力で駆動中の磁気スキルミオンの非平衡定常状態の研究」奥山大輔（東北大多元研）

[14:20 - 14:35 コーヒーブレイク]

セッション 2：構造解析最前線

14:35 - 15:00 「中性子回折による $T^{\prime}\text{-Pr}_{1.4}\text{La}_{0.6}\text{CuO}_{4+\delta}$ の還元アニール効果の研究」御手洗誠（東北大多元研）

15:00 - 15:25 「Magnetic SuperSpace group の基礎、千手への応用」石川喜久（CROSS）

[15:25 - 15:40 コーヒーブレイク]

セッション3：回折技術の発展

15:40 – 16:05 「MLF での中性子回折実験に関連する小技あれこれ - 吸収補正、ストロボ測定など -」川崎卓郎 (J-PARC)

16:05 – 16:30 「高圧力下での中性子回折：偏極・非偏極で何がどこまで測れるか？」寺田典樹(NIMS)

16:30 – 16:55 「共鳴 X 線散乱による RMn_2O_5 系の磁気秩序観測と中性子散乱研究に望むこと」石井祐太(東北大多元研)

16:55 – 17:55 総合討論：講演者及び参加者から「将来中性子を使って展開したいサイエンス」を募り、TS2 計画や現在の MLF, JRR-3 の高度化も含めて総合的に議論する。

18:00 ~ 懇親会